

協議等の記録			
協議名称	広報広聴会議（広聴部会）	協議場所	第1委員会室
		担当職員	田中 悠馬
日時	令和5年5月29日（月曜日）	開議	午前10時 00分
		閉議	午前11時 30分
出席委員	○富谷 松山 土岐 山木 <浅田委員長>		
事務局	野澤副課長兼総務係長 田中主事		

協議の結果

[開議]

1 インタビュー活動についてのまとめ・総括

○委員意見

<松山副部会長>

亀岡市外の方は子どもファースト宣言を知らないと感じたため、亀岡市としてどのような施策を発信していくかが重要である。今回の活動を広聴部会として留めるのではなく、市民の意見をまとめ、現状を所管部と共有できれば良いと考える。

<山木委員>

亀岡市の子ども施策にどれほど関心を持っていただけているか不安であったが、回答率100%で市民の意見を聞いたことが収穫であった。

<土岐委員>

ギャラリーかめおかでは、施設や駐車場が無料で提供されているため、市外からの訪問客が多かった。訪れやすい環境づくりができていると感じた。

<富谷部会長>

休日で唐突なインタビューであったにもかかわらず、快く受け入れていただけたことがありがたかった。自ら出向くことで議会の見える化に貢献できた。

○その他総括

- ・いただいた市民の意見は、広報広聴会議・議会運営委員会で報告後、必要に応じて各委員会へ意見報告。
- ・6月市議会だよりに意見・集計掲載。
- ・広報広聴会議で報告・確認後、市議会Facebookにて活動報告を掲載。
- ・亀岡市議会LINE等広報強化を図る必要がある。

○反省点

- ・子連れひとり親の場合、子どもを見ながらインタビューに答えられていたため配慮が必要になる。
- ・土曜日より日曜日のほうが休みの人が多いため、亀岡市民の意見をより聞けたか

もしれない。

※インタビュー集計については別紙のとおり。

2 今後の活動について

○議場見学会（3月9日広聴部会「令和5年度活動計画」より決定）

<浅田委員長>

教育委員会から小学校に直接活動報告をしてはどうか。社会科見学を取り入れていない小学校へ周知してはどうか。

<松山副部長>

学年を絞る必要はないが、Facebookを積極的に活用し広報する等周知方法が重要になると考える。

<富谷部会長>

初めての試みであるため、申込状況を把握しつつ活動内容を練る必要がある。

<土岐委員>

夏休みの自由研究等宿題に充てることも可能になる。

○活動内容（案）

- ・期間：8月前半（お盆休み前）、1日で4回、1回45分～1時間程度
 - ・対象：市内在住・在学の小中高生、引率者は親に限らない
 - ・定員：1回10人
 - ・広報：Facebook、学校内掲示板に掲載、議員からの声かけ
- ※最終決定は次回とする

3 その他

○次回予定

<6月2日（金）会派会議後、午後1時30分～>

- ・広聴部会後の広報広聴会議で報告するインタビュー活動総括の内容について協議。
- ・議場見学会の日程決定。
- ・6月19日（月）の議会運営委員会にて浅田委員長より広聴活動報告。